

2018年夏季賞与の見通し

— 一人当たり支給額は3年連続のプラスへ —

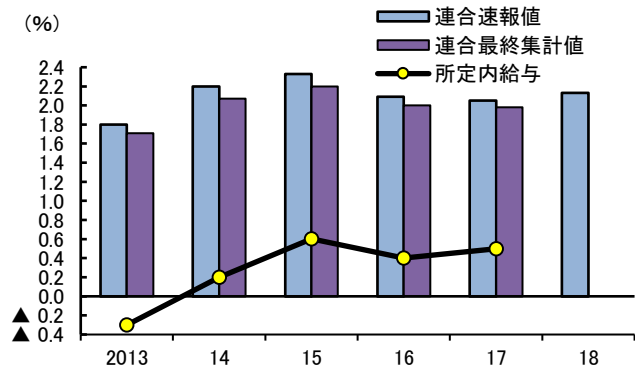
- (1) 今夏の賞与を展望すると、民間企業の一人当たり支給額は前年比+2.2%と、夏季賞与としては3年連続のプラスとなる見込み(図表1)。
(*)厚生労働省「毎月勤労統計」事業所規模5人以上ベース。
- (2) 背景には、賞与額算定のベースとなる所定内給与の改善。経常利益が過去最高圏内で推移し、企業マインドが堅調に推移するなか、今春闘では、昨年を上回る賃上げが実現。
- (3) さらに、正規雇用者が非正規雇用者を上回って増加したことが平均賞与を押し上げ(図表3)。とりわけ、賞与額水準の高い製造業や情報通信業などで正規雇用が大幅増加。
- (4) 支給総額は、前年比+2.8%の増加となる見込み(図表4)。一人当たり支給額の増加に加え、支給対象者の増加も押し上げに作用。
- (5) 国家公務員は、同+2.4%の増加となる見込み。2017年人事院勧告に基づく賞与支給月数の増加(0.05ヵ月分)と月例給の引き上げ(0.15%)が押し上げに作用。

(図表1) 一人当たり夏季賞与の見通し

	(前年比、%)			国家公務員
	民間企業	製造業	非製造業	
2016年末(実績)	▲ 0.1	▲ 1.0	0.1	7.0
2017年夏季(実績)	0.4	0.2	0.4	1.9
2017年末(実績)	2.8	3.8	2.6	▲ 3.3
2018年夏季(予測)	2.2	2.6	2.1	2.4
支給額(万円)	37.5	51.1	34.8	65.8

(資料)厚生労働省、総務省、人事院、予測は日本総合研究所

(図表2) 春闘賃上げ率と所定内給与(前年比)



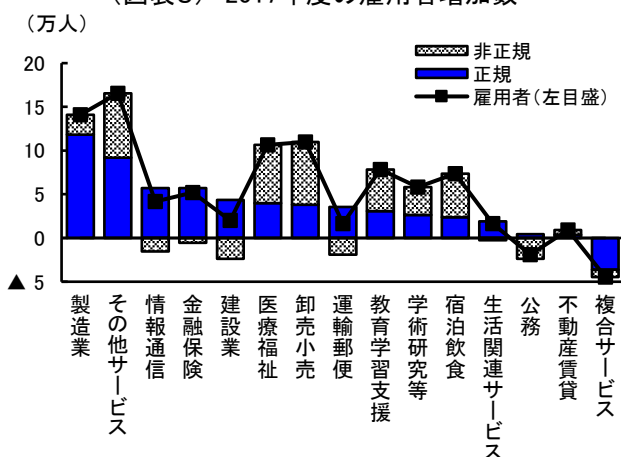
(資料)連合、厚生労働省

(年度)

(注1)2017年度の所定内給与は2017年4月~2018年2月。

(注2)速報値は2018/4/6公表値と過去の同時期の集計。

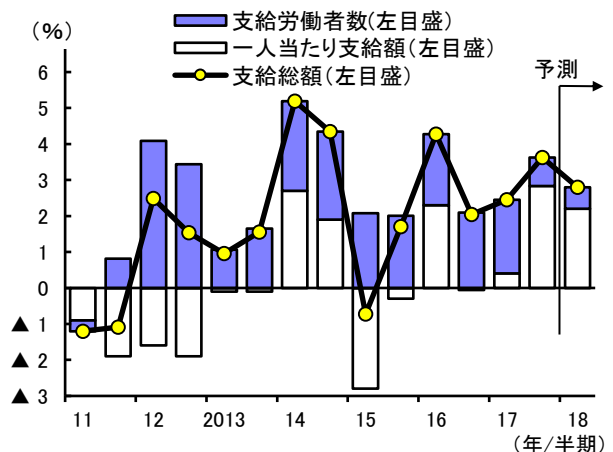
(図表3) 2017年度の雇用者増加数



(資料)総務省「労働力調査」

(注)雇用者数は役員除く。2月までの前年同期差。

(図表4) 賞与支給総額(前年比)



(資料)厚生労働省を基に日本総合研究所作成

